

報道関係者各位

2016年8月2日

ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社

ブッキング・ドットコム、 没後 400 年 シェイクスピアの世界を体感できる人気の旅行先をまとめ発表



[2016年8月2日：日本発表] 世界最大のオンライン宿泊予約サイト Booking.com (ブッキング・ドットコム) の日本人 ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社 (本社：東京都港区 代表：ジェームス・ホワイトモア 以下：ブッキング・ドットコム) は、史上最も著名な詩人／劇作家、ウィリアム・シェイクスピアの没後 400 年を記念して、「シェイクスピアの世界を体感できる人気の旅行先」をまとめご紹介しました。

シェイクスピアの数々の秀作の出発点となったストラットフォード・アポン・エイボンを訪ねるにしても、ヴェローナで悲劇のヒロイン、ジュリエットになった自分を想像するにしても、あるいはロンドンでシェイクスピアの舞台を生で楽しむにしても、世界 97 万 8,500 軒の宿泊施設を紹介している宿泊エキスパートのブッキング・ドットコムなら、伝説的詩人シェイクスピアを愛する全ての人が満足できるあなた好みの宿をきっと見つけられます。



画像：左から 1,2

1. スコットランド(イギリス)

マクベスはシェイクスピア作品の中でも最も有名な登場人物の一人ですが、実在した人物だったということを知る人はあまり多くありません。モデルとなった人物は 11 世紀のスコットランド王で、シェイクスピアが書いた悲劇の主人公同様、殺人、裏切り、ドラマに満ちた人生を過ごしました。息をのむ絶景と歴史に富んだ名所がある、スコットランドのハイランド地方にあるスカイ島は、このスコットランド王やシェイクスピア作品の世界観を肌で感じたい人にとってははずせない旅先でしょう。17 世紀に建てられた元狩猟小屋の[キンロック ロッジ ホテル アンド レストラン](#)は、Na Dal 湾の海岸沿いに広がるキンロック・ヒルの麓にあります。ウイスキーを飲んだりハギスを味わったり、夜には暖炉に温まりながらマクベスの悲話を読み返すのに理想的な場所です。

2. ヴェネツィア(イタリア)

シェイクスピアがヴェネツィアを訪れたことがあったかどうかは明らかになっておりませんが、彼の戯曲のうち 13 作品の一部またはすべてがイタリアを舞台にしていたことから、イタリアに情熱を抱いていたことは明らかであり、ヴェネツィアを舞台にしているのは『ヴェニス商人』と『オセロ』です。両作品にリアルト市場やサン・マルコ広場が登場し、地元の慣習などの細かい描写から、シェイクスピアが一定期間をヴェネツィアで過ごした経験がある可能性は高いと言えます。アドリア海に面した湿地の渦にある 100 以上の小島の上に築かれたヴェネツィアには、他にはない独特な雰囲気があります。中心地であるカステッロ地区にある美しいデザインのホテル[アクア パレス](#)では、シェイクスピアが描くヴェネツィアの世界観が体感できるでしょう。ヴェネツィアにあるブッキング・ドットコムの宿泊施設の中で特に評価が高く、おしゃれな客室やスイートは 1500 年代のイタリアを思わせる気品にあふれています。



画像: 左から 3,4

3. ヘルシンゲル(デンマーク)

シェイクスピア悲劇の中で最も愛され、最も頻繁に上演されている作品のひとつ、デンマーク王国を舞台にした『ハムレット』。コペンハーゲンから北に 1 時間行くと、『ハムレット』の舞台となったために「ハムレット城」と改名された、ユネスコの世界遺産のクロンボー城があります。劇中でクロンボー城はエルシノアと呼ばれており、そのため現在エルシノアはヘルシンゲルという地域の英語名となっています。毎年行われるシェイクスピア・フェスティバルの一環として、1816 年以来シェイクスピア作品がクロンボー城で上演され、ローレンス・オリヴィエ、リチャード・バートン、ケネス・ブラナーなど、世界トップクラスの俳優陣が多く出演してきました。クロンボー城から海岸沿いにわずか 5 分行ったところに、[BB バイザシー ヘルシンゲル](#)があります。我が家のようにくつろげる、美しい北欧式ゲストハウスです。

4. ヴェローナ(イタリア)

「おお、ロミオ、ロミオ！あなたは どうしてロミオなの？」ジュリエット・キャピュレットはシェイクスピアの物語に過ぎないかもしれませんが、美しきヴェローナにあるカペレッティ家の紋章を掲げた 13 世紀の家は想像ではありません。「ジュリエットの家」として愛され、ジュリエットに捧げられたさまざまな芸術品のコレクションを収める家を訪れ、バルコニーに立って最高のラブシーンを再現する旅はいかがでしょうか。多くのロマンチストが訪れるという、恋愛運がア

アップすると噂のジュリエットの銅像に触れるのもいいでしょう。ヴェローナでシェイクスピア探求をするなら、[ラコルテ ディジュリエッタ](#)、特に有名な中庭や像を見下ろせる個性的なスイートがおすすめです。優美な家具、アンティークに囲まれ、シェイクスピアの時代に戻ったような気分になれるだけでなく、夜間中庭に出入りできるのはスイートのゲスト限定なので、完全な静けさとくつろぎの中でこの名所を満喫できます。



画像: 左から 5,6

5. ロンドン(イギリス)

シェイクスピア作品のための劇場として世界中で知られるグローブ座。ロンドンのテムズ川岸に建つこの劇場は舞台愛好家なら一度は訪れたい場所と言えます。現在の建物はシェイクスピア座が 1599 年に建設した野外劇場を復元したもので、シェイクスピアの数々の傑作のほか、ユニークな展示や講座を実施しています。グローブ座では 2016 年の一年間、シェイクスピア 400 という催し物で朗読劇、講義や講演、リサーチ、家族向けイベント、さらには作品の全幕上演などが行われています。劇場から川岸を少し歩くと、有名なビル「シー・コンテナーズ」の中に[モンドリアン ロンドン](#)があります。受賞歴のあるデザイナー、トム・ディクソンが内装を手がけたこのホテルは、オーダーメイドの家具や、グローブ座を含むロンドンの素晴らしい景色を楽しめる屋上テラスが魅力です。

6. ストラトフォード・アポン・エイボン(イギリス)

イングランドの美しい田舎町ストラトフォード・アポン・エイボンで偉大なる詩人の原点を探りましょう。古風な趣のある[トウヴェルフス ナイト ゲストハウス](#)は歴史的な町の中心部からすぐ近くにあり、この地域にあるブッキング・ドットコム の宿泊施設の中で最高の評価を得ています。1897 年に建てられたこの施設は、ビクトリア様式の邸宅を改装したゲストハウスで、イングランドらしい魅力と個性にあふれています。シェイクスピア生誕の地や、近くにあるアン・ハサウェイのコテージ、シェイクスピアが埋葬されている聖トリニティ教会を探索したり、名高いロイヤル・シェイクスピア・カンパニーが運営する 3 つの劇場で観劇を楽しむことができます。

日本におけるブッキング・ドットコム

2009 年に渋谷に最初のオフィスを開設。現在約 200 名の従業員が日本国内のオフィスで働いており、内 100 名がインハウスのカスタマーサービスのスタッフです。国内に、6 つのオフィス(東京に 2 ヶ所、大阪、福岡、札幌、沖縄)があります。現在、国内では約 8,400 軒の宿泊施設の予約が可能(2016 年 6 月時点)です。

Booking.com(ブッキング・ドットコム)について

ブッキング・ドットコムは、ホテルをはじめとする様々な宿泊施設のオンライン予約における世界的なリーダーです。独立系の小規模宿泊施設から 5 つ星の豪華ホテルまで、お客様の旅行スタイルやニーズに合った宿泊施設を、最安値保証かつ予約手数料無料でご提供しています。当社の予約サイトは、40 以上の言語に対応しており、パソコン、スマートフォン、タブレットなど様々なデジタル機器からいつでもどこでもアクセス可能で、224 の国と地域、9 万 2,000 ヶ所以上の目的地、そして 97 万 8,500 軒以上の宿泊施設(うち約 46 万 4,000 軒は長期滞在型宿泊施設)の宿泊予約が可能です。また、実際に宿泊施設に泊まったユーザーだけが投稿できるクチコミを 9,600 万件以上掲載しており、観光・レジャー、ビジネスでのご利用と幅広いお客様のニーズに対応する宿泊予約サイトです。19 年を超える経験をもとに、世界各国・176 以上のオフィス、1 万 1,000 名以上の社員、日本語を含む多言語で対応する 24 時間対応のカスタマーサービスが、お客様に最高の宿泊体験を提供するべく日々努力しています。1996 年に設立した、Booking.com B.V.は Booking.com™ (<http://www.booking.com>) の運営会社で、The Priceline Group(NASDAQ: PCLN)グループのメンバーです。さらに詳しい情報は、<http://www.booking.com> をご参照ください。また、[Twitter](#)、[Instagram](#)、[Facebook](#)、[Pinterest](#) の公式アカウントを開設しています。